



テノール 松原 友

Tenor
Tomo Matsubara



ピアノ 栄長 敬子

Piano
Keiko Einaga



東京藝術大学卒業。同大学院修了。ロームミュージックファンデーション、野村財團奨学生としてミュンヘン音楽大学大学院、ウィーン国立音楽大学リート・オラトリオ科卒業。ドイツリートを小林道夫、白井光子、畠儀文、ヘルムート・ドイチュ、チャールズ・スペンサーの各氏に師事

第51回全国学生音楽コンクール第1位、第14回日仏声楽コンクール第3位、第14回松方ホール音楽賞、第81回、83回日本音楽コンクール第3位・岩谷賞（聴衆賞）、第71回文化庁芸術祭新人賞受賞。

これまで日本、ヨーロッパにおいてリサイタルを開催し、NHKリサイタルノヴァ、ルルトリエンナーレ、トビリシ音楽祭、サイトウキネンフェスティバル、PMF音楽祭に出演。小澤征爾、ウルフ・シルマー、準・メルクル、インゴ・メッツマッハー、ハルトムート・ヘンヒエン、上岡敏之、山田和樹他、国際的な指揮者と共に演を重ねる。

東京藝術大学、京都市立芸術大学、武蔵野音楽大学、同志社女子大学、相愛大学、大阪音楽大学、大阪教育大学、夕陽丘高校、相愛高校各非常勤講師。二期会、日本演奏連盟、日本シューベルト協会各会員。2025年4月より東京混声合唱団特別団員として在籍。シューベルト歌曲連続演奏会~Der Weg zum 2028~を開催中。

<https://tomo-matsubara-musik.com>

東京学芸大学芸術課程ピアノ選修卒業、同大学院修士課程音楽教育専攻修了。演奏の追究の過程で哲学の必要を感じ2011年日本大学大学院博士前期課程人間科学専攻修了。日本ピアノ教育連盟、三善晃プロデュース「響き合うピアノ」等、コンクール、オーディションにて多数受賞。岡田照幸、笹森誠、故渡辺登志子、宮田清、蓼沼恵美子、蓼沼明美の各氏に師事。「ピアノソナタからベートーヴェンを聴く」シリーズ（全10回）をはじめ、ピアノソロリサイタルを新潟、東京にて多数開催。管弦打楽器、声楽とアンサンブルも多く、特にドイツ歌曲において阿吽旅人氏（バリトン）との歌曲リサイタル共演（「冬の旅」等22回）が演奏活動の大きな転機となる。その後、多くの声楽家とリサイタル等で共演。ジョン・健・ヌッツォ、デニス・セドフ各氏とも共演（2018年）。「新潟シューベルティアーデ」創立メンバー。演奏会企画、コンクール審査、解説やコラム執筆（新潟日報連載）、公開講座《シューベルトを味わう！》、《ベートーヴェンのピアノソナタを聴こう！》等も行う。新潟洋楽協会役員。新潟日独協会理事。新潟青陵大学短期大学部准教授。

青陵ホール（新潟青陵大学 1号館 1階）・駐車場のご案内

「新潟青陵大学」アクセス

新潟市中央区水道町1-5939



「新潟青陵大学 校舎案内図」

▶お車の場合は「校舎案内図」の「駐車場入り口」から入場し、駐車して下さい。スペースに限りがあります。

▶「青陵ホール」へは「東門」（あるいは正門と東門の間）から「1号館」に入って下さい。

